

小中合同 公開研究会(2次案内)

小学校と中学校を研修で繋ぐ…新しい形への挑戦



研究主題 (2年目/2年計画)

「自己を調整し、学び続けることができる子どもの育成」

～「子どもが学ぶ姿」に寄り添った授業づくりを通して～

本校では、昨年度から「令和の日本型学校教育」の実現を目指して大きな授業改革を進めてきました。子どもの自己決定を最大限に尊重し、子どもの自己調整学習のサイクルを循環的に回すことで、学び続けることのできる子どもの育成を目指しています。(次のページに少しですが、本校の研究理論を記載しています。ぜひご覧ください。)

今年度からは、「自己調整学習のサイクル」を中学校の授業改善にも取り入れ、合同研修を推進しています。新しい形への挑戦…、今回は合同で公開研究会を実施します。小中共につくりあげる研修会にぜひ足を運んでください。

日程 12月12日(木)

11:05	11:25	12:15	13:10	13:55	14:10	14:25	14:50	16:30
受付 (中学校)	特設授業① 中学校2年「社会」 『地理的分野 北海道地方』 授業者 黒沼 周平	移動 受付 (小学校)	特設授業② 小学校5年「算数」 『面積の求め方を 考えよう』 授業者 武藤 花佳	休憩	全体会	実践発表 →教科ごとの 実践発表	研究協議	まとめ

会場

・浜中町立霧多布小学校 →



特設授業②、全体会、実践発表、研究協議

・浜中町立霧多布中学校 →



特設授業①

両校の特設授業の参観が可能となるように公開時間を設定しています。

両校の授業参観をご希望される方は、誠にお手数をおかけしますが、各自でご移動ください。車で5分程の距離です。左のQRコードを読み込んで場所を確認してください。

助言者

北海道教育庁 釧路教育局 義務教育指導班 主任指導主事
浜中町 教育委員会 指導室長

齋 慎之 様
寺田 順 様

問い合わせ・申し込み

○浜中町立霧多布小学校 (代表)

Tel: 0153-62-2812

E-mail: kirisho@bz04.plala.or.jp

○お申し込みは

こちらからお願いします。

※12月2日(月)メ切



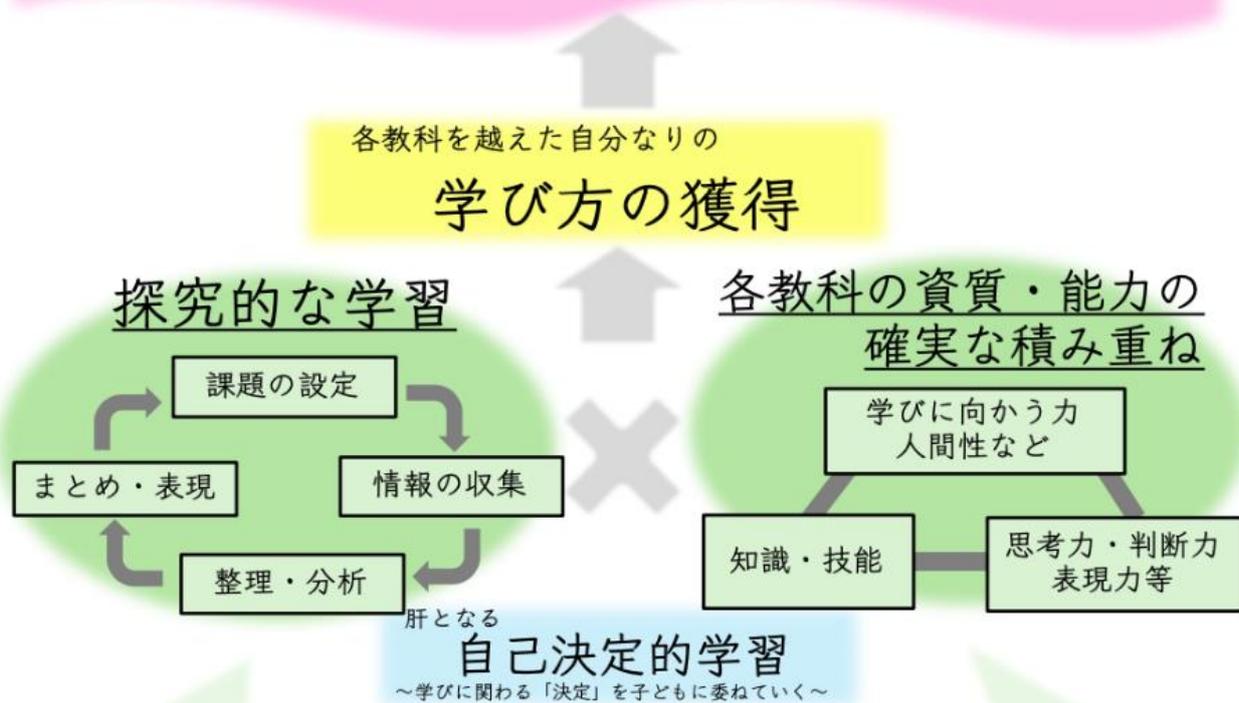
本校の研究構想

本校の研究構想は下記の通りです。どの学習においても、「自己調整学習のサイクル」を循環的に回すことを基盤としています。そのために「子どもが学ぶ姿」に目を向け、学びに関わる決定を子どもに委ねていく自己決定的学習を大切にしています。その中でも、探究的な学習を位置付け、各教科の資質・能力が確実に身につくことができるよう授業実践を積み重ねています。詳細については、本校の研究会にて…。

【研究主題】 2/2年計画

自己を調整し、学び続けることができる子どもの育成 ～「子どもが学ぶ姿」に寄り添った授業作りを通して～

先行きが不透明で将来の予測が困難な VUCA の時代、先端技術が高度化する Society5.0 時代を生き抜くことができるよう「生涯にわたっての能動的に学び続ける力」の育成を目指す。解決すべき課題を自ら見だし、主体的に考え、多様な立場の他者と協働的に議論し、答えのない問いに納得解を生み出す…そんな子どもたちの姿が本研修のゴールである。



- ・子どもが主語の学習過程の重視
- ・「学び方」の指導→徐々に手離れ
- ・自己の学びをモニタリングする機会の提供
- ・「比較」を中核とした考える技法(思考ツール)の習得に向けた指導の充実
- ・複線型の授業を可能にする ICT の効果的な活用
- ★全ての教科で探究的な学習を積み重ねる

- ・各教科特性を踏まえた授業実践
- ・見方・考え方が働く授業
- ・子どもの姿を具体的にした評価規準の設定
- ・3つの資質能力を適切に位置付けた評価計画
- ・「学びの手引き」の活用
- 単元の目標、学習内容等全て子どもと共有
- ★小中連携した専門研修にて実践を積み重ねる

土台となる子どもの「自己調整力」



小・中一貫した「子ども一人ひとりを大切にする」教育観・指導観